

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	15005-2
課題名	頭頸部扁平上皮癌における癌抗原および免疫関連分子の発現解析
研究期間	西暦 2015 年 4 月 30 日 ～ 2020 年 4 月 30 日
研究の対象	西暦 1999 年 1 月 1 日～2019 年 10 月 31 日に当院で頭頸部扁平上皮癌の治療を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<p>■診療情報（詳細：病歴、血液検査・画像診断・病理診断結果、治療歴、再発・生存の有無）</p> <p>■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：頭頸部扁平上皮癌）</p> <p>■血液</p> <p><input type="checkbox"/>その他（ ）</p>
研究の意義、目的	<p>近年、手術、放射線治療、抗癌剤に次ぐ第 4 の治療法として癌免疫療法が注目を浴びている。有効な癌免疫療法を考える上で、癌細胞に発現している標的抗原（癌抗原）の同定と免疫チェックポイント分子（免疫を活性化するか抑制するかきめる分子）に代表される免疫関連分子の制御が重要と考えられている。しかしながら、頭頸部扁平上皮癌（頸から上にできる癌で最も多い癌）に対する癌免疫療法のための有効な癌抗原の検索や免疫チェックポイント分子の発現解析はほとんど行われていない。本研究では、頭頸部扁平上皮癌（中咽頭癌、下咽頭癌、舌癌など）における癌抗原（他の癌での発現が確認されているものはもちろん、新規癌抗原を含む）および免疫チェックポイントを含む免疫関連分子の発現を癌組織や血液を用いて検討する。</p>
研究の方法	<p>診断時に採取した頭頸部扁平上皮癌の組織を用いて、癌抗原や免疫関連分子に目印をつける試薬で組織を処理し、その発現具合を顕微鏡で確認する。また、定期血液検査時に余った血液を用いて、癌抗原や免疫関連分子を補足する試薬により血液中での発現量を測定する。さらに、カルテから病歴や各種検査結果、治療歴、再発・生存の有無などの記録を参照して、上記分子の発現との因果関係を数学的な処理を行って判断する。</p>
その他	なし
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p>

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

北海道旭川市緑が丘東 2-1-1-1

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 0166-68-2554

担当者：長門利純、岸部 幹

研究責任者：

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 原淵保明